

リスと森

リスと森

秋になると、リスはクルミなどの木の^み実をあつめて、^{じめん}地面のおちばの下や、木のえだにかくします。食べものが少ない冬にそなえるためです。

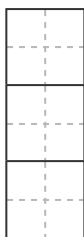
リスは、かくしたばしよを、かなりよくおぼえています。それでも、ほかのどうぶつに食べられたり、リスが食べのこしたりして、春までそのまま^{じめん}地面にのこる^み実もあります。

そのような^み実から、春にめが出て、やがて大きな木にそだちます。リスがはこんだ木の^み実が、森を新しくそだてるのに、

① <ruby>一役</rt>ひとやく</rt></ruby>買ったころです。

1 リスが木の^み実をかくすのは、どうしてですか。

2 リスは、木の^み実を^{じめん}地面の何の下にかくしますか。



の下

3 春までのこった^み実は、どうなりますか。

ア くさってしまう。

イ めが出て、木にそだつ。

ウ リスがすべて食べる。

4 ①「一^{ひとやく}役^{やく}買^かっている」とは、どういうみですか。

ア 役に立っている

イ じやまをしている

ウ お金をはらっている

5 この文章で、いちばんつたえたいことは何ですか。